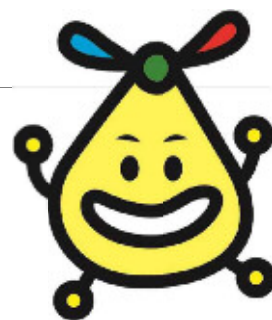


半田市家庭系ごみ有料化 制度説明会

令和2年12月



令和3年(2021年)4月1日から
新しいごみ減量の取り組み
「家庭系ごみ有料化」が
はじまります

有料化の目的と効果

- ①ごみ減量と資源化の推進
- ②ごみの排出量に応じた負担の公平性を確保
- ③ごみ処理経費の削減と将来の負担の軽減

家庭系ごみ有料化とは？

家庭から排出されるごみを処理するための費用の一部を、排出量に応じて、市民の皆様に**手数料**として負担していただく制度です。

燃やせるごみ(大サイズ:45ℓ相当)を処理するのに、1袋あたり約160円の費用がかかっています。



令和3年4月からの 変更点

有料化によりごみの出し方が一部変更となります

「燃やせるごみ」を
ごみステーションに出すとき

半田市指定ごみ袋が**黄色**から
グリーンに変わります

4月以降はごみ
ステーションに
出すときは使え
ません

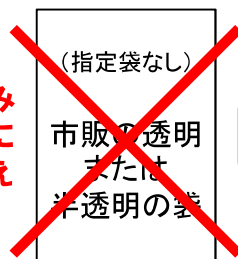


令和3年4月1日以降は、指定ごみ袋(グリーン)でごみス
テーションに出してください

「燃やせないごみ」を
ごみステーションに出すとき

燃やせないごみも『指定ごみ袋制』
となります

4月以降はごみ
ステーションに
出すときは使え
ません



令和3年4月1日以降は、指定ごみ袋(グレー)でごみス
テーションに出してください

新しい指定ごみ袋は、 令和3年2月から販売開始予定です



新指定ごみ袋（燃やせるごみ）

- 大 45ℓ 1組10枚入 500円
 - 小 30ℓ 1組10枚入 300円
 - 特小 20ℓ 1組10枚入 200円
- （販売価格は消費税込み）



新指定ごみ袋（燃やせないごみ）

- 大 45ℓ 1組10枚入 500円
 - 小 30ℓ 1組10枚入 300円
 - 特小 20ℓ 1組10枚入 200円
- （販売価格は消費税込み）

新しい指定ごみ袋は、 10枚1組のロール式です

外袋を廃止することで、プラスチックごみを削減します。

（紙ラベルは、紙製容器包装として資源分別をお願いします。）



ペットボトルなどの資源を ごみステーションに出すとき

指定資源回収袋(白色)は変わりません



ペットボトル、プラスチック製容器包装、紙製容器包装・その他紙類をごみステーションに出すときは、これまで同様「指定資源回収袋」に入れて出してください。

※販売価格も変わりません。

資源をしっかりと分別してごみを減らしましょう！

半田市クリーンセンターへ 家庭系ごみを持ちこむとき

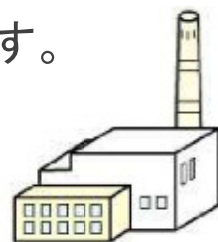
クリーンセンターへの家庭系ごみの持ち込みも
有料となります

家庭系ごみ(燃やせるごみ、燃やせないごみ、粗大ごみ)の重さに応じて、10キログラムあたり100円の手数料がかかります。

※資源物の持ち込みは引き続き無料です。

クリーンセンターへの家庭系ごみの搬入手数料

10kgあたり **100円**



クリーンセンターへ持ち込むときの 注意事項①

手数料の二重払いを防止するため、家庭系ごみをクリーンセンターに持ち込むときは、新しい指定ごみ袋は使用しないでください。

搬入時は、積み下ろしがしやすい状態であれば袋に入れる必要はありません。

袋に入れる場合は、内容物が確認できるよう、透明か半透明の袋を使用してください。



新しい指定ごみ袋や中身の見えない袋は使用しないでください

クリーンセンターへ持ち込むときの 注意事項②

クリーンセンターにご家庭から出たごみ(燃やせるごみ・燃やせないごみ・粗大ごみ)を持ち込む場合は、10kgあたり100円の手数料がかかりますが、

資源物などを持ち込む場合には手数料はかかりません。

クリーンセンターに持ち込む場合に
有料化の対象外となるもの

資源物(アルミ缶、スチール缶、空きびん、
紙パック、新聞、雑誌、ダンボール、古着、
小型家電、刈草・剪定枝、紙製容器包装・そ
の他紙類、ペットボトル、プラスチック製容器
包装、廃食用油、羽毛布団)

発火性危険ごみ(スプレー缶、ライ
ター、カセット式ガスボンベ)
蛍光管、乾電池



残ってしまった
黄色いごみ袋は？

現在の指定ごみ袋(黄色)は・・・

現在お使いいただいている指定ごみ袋(黄色)は、令和3年4月1日以降はごみステーションに出す際にはお使いいただけません。

計画的なご購入を
お願いいたします。



残ってしまった場合は・・・

- クリーンセンターにごみを搬入する際は、袋の指定はありませんので、旧指定ごみ袋も活用いただけます。
- 有料化の開始後に、ご家庭に残ってしまった指定ごみ袋については、交換期間を設け、**交換対応**を行います。

旧指定ごみ袋の交換対応について

- ①または②の方法による交換を行います。
- ① 旧指定ごみ袋と同じ大きさ・同じ枚数の
「指定資源回収袋」へ交換
 - ② 旧指定ごみ袋**10枚**につき、同じ大きさの
新指定ごみ袋(可燃又は不燃)**3枚**へ交換

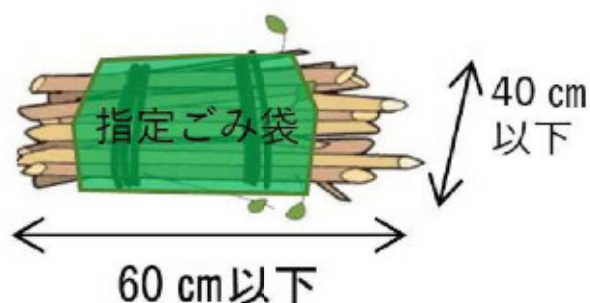
交換時期は**令和3年5月頃**を予定しています。
詳細は、改めて市報等でお知らせいたします。

指定ごみ袋に入れるのが 難しいごみの特例

令和3年4月1日からの 「剪定枝」の出し方①

直径5cm未満の枝木、竹は『燃やせるごみ』
として出してください

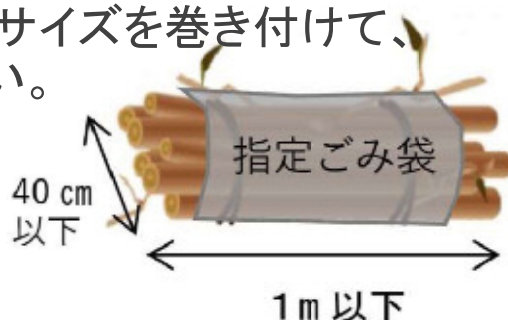
長さ60cm以下、幅40cm以下にして、指定ごみ袋
(燃やせるごみ)の大サイズを巻き付けて、紐で
縛って出してください。



令和3年4月1日からの 「剪定枝」の出し方②

直径5cm以上20cm未満の枝木は、『燃やせ
ないごみ』として出してください。

長さ1m以下、幅40cm以下にして、指定ごみ袋
(燃やせないごみ)の大サイズを巻き付けて、
紐で縛って出してください。



刈草・枝木・竹は、クリーンセンターへ直接お持ち込みいた
だくと**資源化**できます。資源化にご協力ください。

令和3年4月1日からの 「ふとん」の出し方

①指定ごみ袋に入る場合

ふとんを折り畳んで指定ごみ袋に入れて出してください。

②指定ごみ袋に入らない場合

ふとんを1枚ごとに折りたたんで、指定ごみ袋(燃やせるごみ)の大サイズを巻き付けて、紐で縛って出してください。

羽毛ふとんは、クリーンセンターへ直接お持ち込みいただくと**資源化**できます。
資源化にご協力ください。



有料化の対象と ならないごみ

紙おむつ



育児や介護等に使用し、家庭生活から排出される紙おむつについては、有料化の対象外とします。

【紙おむつの出し方】

- 中身が確認できる透明又は半透明の袋に入れて、袋にマジックなどで「おむつ」と記載して、ゴミステーションに出してください。
- おむつ使用時に一緒に使用する尿取りパッドやおむつをくるんだ新聞紙等は、一緒に出していただいて構いません。

「燃やせるごみ」の日に
出してください



ボランティア清掃ごみ

【春・秋のはんだクリーン作戦】

春・秋のクリーン作戦で出る草などは、これまでと同様、指定の集積場所に配布された透明袋（排土は土のう袋）に入れて出してください。



ボランティア清掃ごみ 【公共施設アダプトプログラム】



公共の場所の清掃ボランティアを行う**公共施設アダプトプログラム(はんだクリーンボランティア)**に登録いただいた方には、活動に必要なごみ袋(透明袋)や清掃用具を市民協働課で支給しています。活動により出たごみは、次のように出してください。

①ごみステーションに出す場合

市民協働課でお渡しする透明袋にクリーンボランティアの表示用紙を入れて、ごみステーションに出してください。

②クリーンセンターに持ち込む場合

市民協働課でお渡しする「搬入許可書」をクリーンセンター計量棟で提示してください。



地域行事・地域祭礼ごみ



自治区又はコミュニティ主催の行事や、地域の祭礼で発生したごみについては、事前にクリーンセンターへ減免申請書を提出いただくことで、クリーンセンターに搬入する際の手数料を減免することができます。

※必ず事前にクリーンセンターにご相談ください。

イベント等で発生するごみについても、資源化とごみ減量にご協力ください！



『資源』は有料化の対象外です

ごみステーションで収集するもののうち、有料化の対象となるのは「燃やせるごみ」「燃やせないごみ」です。
資源分別によりごみを減らし、家計の負担も減らしましょう。

ごみは**有料化**

指定ごみ袋の代金に
処理手数料を含みます。



資源は**無料**

袋の代金は製造費
相当分です



指定ごみ袋が高くなるから、
ごみを減らしたいけど、
どうやったら減らせるの？

今日からできる 「ごみ減量」

毎日のちょっとした心がけが、
「ごみ減量」につながります

Point-1

資源とごみをしっかり分けよう

収集ごみの分析調査では、「燃やせるごみ」は24%、「燃やせないごみ」は74%もの資源が混入しており、ごみに混入していた資源の量は1年間で推計5,600トンにもなります。

これらの資源を正しく分別し、資源化してごみを減らせば、家計の負担も環境への負担も減らすことができます。



そのごみ袋、
資源が入っていませんか？

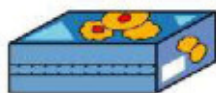
【紙製容器包装・その他紙類】

ここに
注目！

「紙」は燃やせるからと「燃やせるごみ」の袋に入れていませんか？

お菓子の空き箱、トイレトペーパーの芯、メモ用紙やシュレッダーダストなどの紙類は、大切な『資源』です！

「紙製容器包装・その他紙類」として出してください。





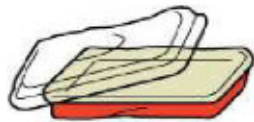
そのごみ袋、
資源が入っていませんか？

【プラスチック製容器包装】

ここに
注目！

私たちの身近な商品の容器や包装にプラスチックが多く使われています。プラマークの表示があるプラスチック製容器包装は、軽く洗って汚れを落とせば**大切な『資源』**です！

分別して「プラスチック製容器包装」として出してください。



Point-2

生ごみを減らす「3つのキリ」

生ごみは、燃やせるごみの約半分を占めています。その生ごみの80%が水分です。次の3つのキリを実践して、生ごみを減らしましょう。

①水キリ

水切りネットを活用して、水切りしてから捨てましょう。

②食べキリ

料理は必要なだけ作り、残さず全部食べましょう

③使いキリ

食材を上手に使い切りましょう。

「**生ごみ処理機**」や「**堆肥化容器**」は
生ごみの減量に効果抜群！



半田市生ごみ堆肥化容器等設置奨励補助金

◎生ごみ処理機 購入金額(税込)の3分の2(上限15,000円)

◎生ごみ堆肥化容器 購入金額(税込)の3分の2(上限 6,000円)

家庭でのごみ減量の 工夫を紹介します

できることから始めよう

りんご箱のコンポストで生ごみ処理 亀崎地区のMさん宅



りんご箱を3つ並べて、コンポストに。

生ごみのうち、野菜や果物など植物系のものは、庭のりんご箱を活用したミミズコンポストで処理しています。不要になった木材で蓋を作り、ベンチとしても使っています。

コンポストで処理しない動物系の生ごみなどは燃やせるごみへ。燃やせるごみは家族5人分で週2回、小(30ℓ)の袋に半分ほど出しています。

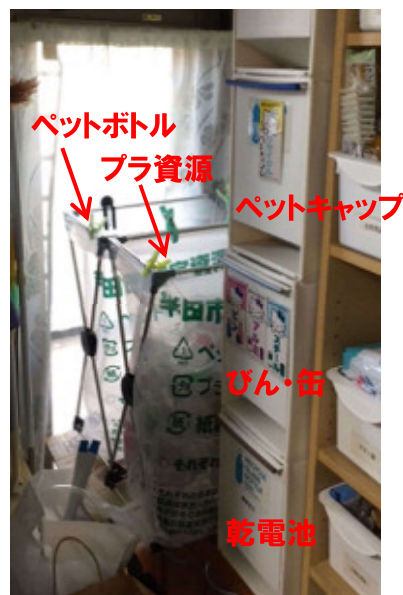


最初から置く場所を決めておく 青山地区のKさん宅①

特に「ごみ減量」を意識はしていない、というKさんですが、1人と犬1匹の生活から出る「燃やせるごみ」は、週2回、特小(20ℓ)の袋に3分の1程度、少しの生ごみとティッシュ類ぐらいしかありません。

「後から分けるのは大変だから、最初から置く場所を決めておく」、「買い物をするときは、捨てる時のことを考えて買う」ことが習慣になっているそうです。

資源の置き場がしっかりと決められている一方で、キッチンには「ごみ箱」は置かれていませんでした。



最初から置く場所を決めておく 青山地区のKさん宅②



枝や草は、カリカリに乾かしてから捨てています



野菜も心まで使い切るので、生ごみはほんの少量



白色トレイは、まとめておいて、近くのスーパーでポイント交換



ダンボールの中には、ティッシュの箱や空き箱など
これも縛って、資源回収へ出します



新聞や雑誌はこのラックへ
月1回の地域の資源回収へ出します

プラスチックごみを減らす工夫 亀崎地区のYさん宅①

5人家族のYさん宅の燃やせるごみは、週2回、小(30ℓ)1袋ずつ出しています。以前は大(45ℓ)の袋を使っていましたが、1年程前からコンポストを始めて、小で足りるようになりました。おむつが不要になれば、さらにごみは減らせそうです。

プラスチックごみを減らすために、洗剤の種類を減らしてまとめ買いしたり、卵はスーパーではなく養鶏場で買ったり、お米も玄米をまとめ買いするなどの工夫をしています。

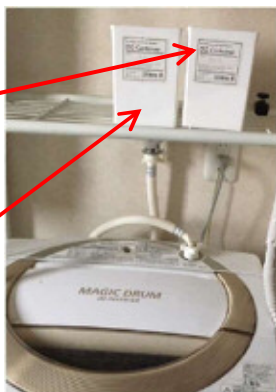


養鶏場へこのカゴを持って買いに行くので、容器包装のごみが出ません。

玄米を30kgまとめ買いして、少しずつ精米しています。



プラスチックごみを減らす工夫 亀崎地区のYさん宅②



洗剤を使わなくても汚れが落ちる
ふきんを使ったり、油汚れは古布
で拭き取るなど、台所用洗剤の
使用量も抑えています。

洗濯用洗剤は、「酸素系漂白剤」と「セスキ炭酸ソーダ」を通信販売で購入。
種類を増やさず、まとめ買いすることで容
器のごみを減らしています。



生ごみ処理で、ごみ袋は「大」から「小」へ 成岩地区のKさん宅

燃やせるごみを出すときに、これまでは大(45ℓ)のごみ袋を使っていたましたが、紙やプラの分別や、生ごみを「キエーロ」(バクテリアで生ごみを分解する生ごみ処理機)で処理するようになってから、小(30ℓ)の袋で足りるようになりました。

ごみ箱の使い方も見直し、大きいものから、プラスチック容器包装と紙製容器包装・その他紙類に、一番小さいごみ箱を燃やせるごみ用に変えました。



家庭系ごみ有料化

令和3年(2021年)
4月1日から始まります



半田市指定ごみ袋が黄色からグリーンに変わります



新指定ごみ袋(燃やせるごみ)

大	45ℓ	1袋10枚入	500円
小	30ℓ	1袋10枚入	300円
特小	20ℓ	1袋10枚入	200円

※販売価格は消費税込み

新しい袋は、2月から販売開始予定です

・現在お使いいただいている指定ごみ袋(黄色)は、令和3年4月1日以降はごみステーションに出す際はお使いいただけません。計画的なご購入をお願いします。

指定資源回収袋(白色)は変わりません

ペットボトル、プラスチック製容器包装、紙製容器包装・その他紙類をごみステーションに出すときは、これまで同様



「指定資源回収袋」に入れてごみステーションに出してください

資源をしっかり分別してごみを減らしましょう!

燃やせないごみも指定ごみ袋制となります



新指定ごみ袋(燃やせないごみ)

大	45ℓ	1袋10枚入	500円
小	30ℓ	1袋10枚入	300円
特小	20ℓ	1袋10枚入	200円

※販売価格は消費税込み

新しい袋は、2月から販売開始予定です

・令和3年4月1日以降は、指定ごみ袋(グレー)でごみステーションに出してください。

クリーンセンターへの家庭系ごみの持ち込みも有料となります

家庭系ごみ(燃やせるごみ、燃やせないごみ、粗大ごみ)の重さに応じて、

10キログラムあたり100円

の手数料がかかります。

資源物の持ち込みは引き続き無料です。

ごみの減量と資源化の推進にご協力をお願いします。

お問い合わせ先

半田市クリーンセンター

電話0569-23-3567 FAX0569-21-6405